



心配橋出店のあれこれ

100年に一度とも言われたこの大不況が冷めやらぬこの3月4月、心斎橋でも退店と出店は繰り返されています。数年前には8件もできた女性下着店も半減し、さらには大きな宝石屋さんや高級婦人装関係のお店も退店して、結構な大箱が空室になっています。

ガラア～ン…。

一方でドラッグストアや質屋の出店がめだち、安売り系の小売業が幅を利かせているのが今の心斎橋です。まさに時代を反映した出店劇ですね。

さて、3月の大きな話題は、大阪で初めてH&Mの出店があり、初日は

2500人を並ばせた事でした。このお店はスウェーデン発の低単価ファッションで、まあ海外のユニクロおしゃれバージョンといえ良いのでしょうか…。地元民としてはこの道頓堀橋の北側の袂という場所に注目しています。この橋の両サイドともに何をやってもうまくはゆかないというビルで、お客さんが一巡する夏休み明けに、はたしてH&Mさんが繁盛しているのかどうか…。大いに気になるところです。

一方で、松前屋のマン前にできるのが、クリスピー・クリーム・ドーナツ。東京でも名古屋でも1000人・9時間も並ばせたという人気のドーナツ店ですが（仕事遅いなア）、150円～180円のドーナツのためになんで???このお店は大甘で、味にうるさい大阪で、はたして他地区のように続けられるのかが大いに興味をそそられます、ああ心配…。

そんなよそ様の事を心配している場合はありませんね。（心配橋暦98年生）



↑2500人ならんだH&Mのオープン

社内一番自慢!

本店・豊田祐佳は入社2年目。青森出身、大学は山梨、大学院は阪大と着々と日本列島を縦断…かと思えば、さらに突き抜けて中国大陸にも足を伸ばしてきた行動派。

戻って来た先はなぜか大阪の昆布屋さんでしたが、放浪の経験を余すことなく発揮中!

年々増加する中国人観光客相手にガンガン売り込むべく本店メンバーにも中国語をレクチャーしている豊田の一番自慢とは?!



グローバルっ娘・豊田の一番自慢!

自慢というか、胸を張って言えることは中国語が話せることです。今は、心斎橋を歩く中国人観光客相手に、ちょこちょこ役立っています。

でも、実は本当に自慢したいことは、中国語が話せることではないのです。私の自慢は中国に2年間留学したこと、その間にマダガスカルのルームメイトと暮らしていたことです。初対面の時は、互いに会話がほとんど通じず大変でした。片や母国語公用語日本語、片や母国語マダガスカル語に公用語フランス語。お互いに齟齬程度の英語。中国語でのやり取りは困難を極めました。そのせいもあってか、中国語も一年後にはかたがた話せるようになり、ルームメイトとも「妹」「姉」と呼び合う仲になりました。ルームメイトのことだけでなく、留学中はずっと寮生活を送っていたので、とても国際色豊かな交流を持つことができました。お陰でいろいろな国の料理を作ることが出来るようになったのは密かな自慢です。

これからは中国語圏のお客様に限らず、世界中の人相手に松前屋の昆布を勧めていきたいらいいと思います。